普及活動情勢報告（令和３年１２月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

**黒糖商品の販路拡大に向けて！　・・・黒潮町しおかぜ工房（6次産業化セミナー）・・・**

11月18日､高知市ソーレで6次産業化セミナーアップグレードコースが開催され、しおかぜ工房から1名が受講しました。

セミナーでは黒砂糖を使った3商品のふるさと納税返礼品や店舗用のセット商品について､2名の専門家よりアドバイスをいただきました。

今後は、商品ラベル等の修正や梱包方法のブラッシュアップを行い、商品の販路拡大に向けて支援していきます。

**農福連携に向けて！　・・・令和3年度第2回幡多地域農福連携協議会・・・**

11月24日、四万十農園あぐりっこ研修センターで、第2回幡多地域農福連携協議会を開催し、農業改良普及課、JA、福祉事業所、相談支援事業所、生産者をはじめ、36名の参加がありました。

会では、農福連携の支援活動や施策の紹介、障害者の雇用について研修が行われました。また、農業改良普及課は、「個別農家との農福連携」をテーマにワークショップを実施し､グループごとに「現状と課題」、「今後の対策」について意見交換を行い、「農福連携の理解が深まった」、「職場の見学をしてみたい」などの声が聞かれました。

今後も、関係機関と連携し、幡多地域の農福連携を進めていきます。

**地域を守る仕組みを学ぼう！　・・・四万十市・土佐清水市集落営農農組織先進地視察・・・**

11月26日、集落営農の広域連携に取り組む黒潮町：大方地域組織間連携協議会と四万十町：（一社）四万十農産への視察研修を行い、四万十市と土佐清水市の集落営農組織8組織28名が参加しました。

組織の概要や取組内容について説明を受けた後、参加者からは「共同機械の利用調整や人手確保」、「効率の良い品目」、「今後の取り組み」等について質問がありました。

今後は、組織形態や事業内容について情報提供や助言を行い、地域を守る仕組み作りを支援していきます。

## 西土佐女性部のさらなる活動活性化を！　・・・ＪＡ西土佐女性部菜園コンクール・・・

12月6日、四万十市西土佐で2年ぶりの菜園コンクールが開催され、JA西土佐女性部から35人の参加がありました。

市役所や農業改良普及課、JA職員が審査員として参加し、今年選定されたほ場を巡回して栽培品目数や生育状況などの審査を行いました。

去年は新型コロナの影響で開催できませんでしたが、そんなブランクは感じさせない熱心な菜園コンクールとなりました。

JA西土佐女性部の作った野菜が「道の駅」やJA直販所への出荷にもつなげられるよう、今後も関係機関と連携して支援していきます。

## これからの栽培について学ぼう！　・・・佐賀支所にら部会現地検討会・・・

12月11日､黒潮町佐賀地区のニラほ場で現地検討会が開催され、生産者14名が参加しました。

収穫2回目を迎えたほ場を2カ所見学した後で、農業改良普及課から温湿度管理や電照栽培等、今後の栽培管理について講習しました。

参加者からは、「品種特性の違いは？」「生育が揃っているが何が良かったと思うか」といった質問があり、参加者同士で活発な意見交換が見られました。

今後は、巡回を通じて、次作の育苗管理や急激な環境変化への対策など指導をしていきます。

## 小学生に農業の魅力を伝えよう！　・・・宿毛４Hクラブ出前授業・・・

12月13日、宿毛市立小筑紫小学校で、小学3･4年生25名に対して、出前授業を行いました。

授業では、宿毛４Hクラブ員が講師となり、基幹品目であるオクラの栽培方法や害虫被害の紹介、農薬の必要性を説明し、食のありがたみについて伝えました。小学生からは、「心を込めていただきますを言うようにする」、「農業の大変さが分かった」という声がありました。

農業改良普及課は、関係機関との打ち合わせや発表資料の作成等、開催に向けた支援を行いました。

今後も、食農教育を通して子供たちが農業を学ぶ場を提供できるように、宿毛4Hクラブの活動を支援していきます。